



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マンドム

コード番号 4917 URL <https://www.mandom.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 西村 健

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 澤田 正典 TEL 06-6767-5001

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	32,652	11.4	1,038	—	1,362	—	974	198.1
2022年3月期第2四半期	29,311	△12.6	△646	—	△358	—	326	△84.7

（注）包括利益 2023年3月期第2四半期 5,463百万円（547.2%） 2022年3月期第2四半期 844百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	21.66	—
2022年3月期第2四半期	7.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	91,786	73,609	73.2
2022年3月期	85,767	69,051	73.8

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 67,201百万円 2022年3月期 63,321百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2023年3月期	—	19.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	13.3	1,000	—	1,350	—	750	—	16.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	48,269,212株	2022年3月期	48,269,212株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	3,303,630株	2022年3月期	3,285,292株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	44,974,607株	2022年3月期2Q	44,889,235株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和により、経済社会活動の正常化が進み、持ち直しの動きが見られました。一方、ウクライナ情勢の長期化に伴い原材料価格が上昇するとともに、世界的な金融引き締め等を背景とした海外景気の下振れが、国内景気を下押しするリスクが懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況にあります。

当社海外グループの事業エリアであるアジア経済については、東アジアが中国を中心に新型コロナウイルス感染症再拡大に伴う行動制限の影響を受ける一方で、東南アジアにおいては全体として行動制限の緩和が進み、経済活動の回復が持続しました。

このような経済状況のもと、当社グループはVISION2027実現のための「変革・挑戦」期と位置づけた中期経営計画の経営基本方針に基づき諸施策を推進しております。経営基本方針は次のとおりであります。

経営基本方針

- ・ニューノーマルにおけるカテゴリ戦略の進化・挑戦と
ブランド価値向上を徹底できる全社マーケティング革新
- ・インドネシア事業再生のスピーディな完遂と海外事業のビジネスモデル革新
- ・デジタルイノベーションとオープンイノベーションによる新価値創造企業への転換
- ・サステナブル経営を中核とした企業価値向上とお役立ちの進化

当第2四半期連結累計期間の売上高は、32,652百万円（前年同四半期比11.4%増）となりました。これは主として、新型コロナウイルス感染症に対する様々な規制の解除とそれに伴う経済社会活動の正常化が進んだことにより、「ギョツビー」の売上高が増加したことに加えて、円安により海外子会社の売上高の円換算額が増加したことによるものであります。

営業利益は、1,038百万円（前年同四半期は646百万円の営業損失）となりました。これは主として、売上総利益の増加によるものであります。その結果、経常利益は1,362百万円（前年同四半期は358百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は974百万円（前年同四半期比198.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績（売上高は外部顧客への売上高）は次のとおりであります。

日本における売上高は18,790百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。これは主として、今夏の記録的猛暑の影響により「ギョツビー」の売上高が増加したことによるものであります。利益面においては、主として売上総利益の増加により、営業利益は681百万円（前年同四半期は178百万円の営業損失）となりました。

インドネシアにおける売上高は6,089百万円（前年同四半期比17.4%増）となりました。これは主として、女性事業の「PIXY」の売上高が増加したことに加えて、円安により売上高の円換算額が増加したことによるものであります。利益面においては、原価率が改善したものの、営業損失は370百万円（前年同四半期は593百万円の営業損失）となりました。

海外その他における売上高は7,773百万円（前年同四半期比21.4%増）となりました。これは主として、マレーシアをはじめとする東南アジア各国で売上高が回復したことによるものであります。利益面においては、主として売上総利益の増加により、営業利益は728百万円（同480.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の増加などにより91,786百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,018百万円増加いたしました。負債合計は、支払手形及び買掛金の増加などにより18,177百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,460百万円増加いたしました。また、純資産合計は、為替換算調整勘定の増加などにより73,609百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,557百万円増加し、自己資本比率は73.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ3,527百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には19,542百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は3,794百万円(前年同四半期は5,233百万円の収入)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,324百万円および減価償却費2,466百万円による増加と、未払金の減少額556百万円による減少であります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は516百万円(前年同四半期は376百万円の収入)となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出706百万円による減少であります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は1,018百万円(前年同四半期は4,475百万円の支出)となりました。主な内訳は、配当金の支払額813百万円による減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,018	23,679
受取手形及び売掛金	9,227	9,483
商品及び製品	8,511	9,496
仕掛品	456	540
原材料及び貯蔵品	3,152	3,612
その他	1,524	1,525
貸倒引当金	△22	△5
流動資産合計	42,868	48,332
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,423	16,339
機械装置及び運搬具（純額）	7,595	7,149
その他（純額）	2,641	2,692
有形固定資産合計	26,660	26,182
無形固定資産		
のれん	2,821	3,043
その他	4,421	4,387
無形固定資産合計	7,243	7,430
投資その他の資産		
投資有価証券	7,405	8,143
その他	1,600	1,708
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	8,995	9,841
固定資産合計	42,899	43,453
資産合計	85,767	91,786

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,188	3,602
短期借入金	226	229
未払法人税等	151	541
賞与引当金	654	1,087
その他の引当金	37	24
その他	6,974	6,692
流動負債合計	11,233	12,178
固定負債		
退職給付に係る負債	2,580	2,937
その他	2,902	3,060
固定負債合計	5,482	5,998
負債合計	16,716	18,177
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,394	11,394
資本剰余金	11,058	11,086
利益剰余金	48,513	48,677
自己株式	△6,589	△6,589
株主資本合計	64,376	64,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,348	3,677
為替換算調整勘定	△4,555	△1,164
退職給付に係る調整累計額	152	119
その他の包括利益累計額合計	△1,055	2,632
非支配株主持分	5,729	6,408
純資産合計	69,051	73,609
負債純資産合計	85,767	91,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	29,311	32,652
売上原価	16,889	18,518
売上総利益	12,422	14,134
販売費及び一般管理費	13,069	13,095
営業利益又は営業損失 (△)	△646	1,038
営業外収益		
受取利息	86	104
受取配当金	63	47
持分法による投資利益	89	113
為替差益	10	47
その他	66	101
営業外収益合計	315	414
営業外費用		
支払利息	12	10
コミットメントフィー	7	5
支払補償費	1	67
その他	6	8
営業外費用合計	27	91
経常利益又は経常損失 (△)	△358	1,362
特別利益		
固定資産売却益	1	3
投資有価証券売却益	966	24
特別利益合計	968	28
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	61	2
事業構造改善費用	—	62
特別損失合計	63	65
税金等調整前四半期純利益	546	1,324
法人税等	316	372
四半期純利益	229	952
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△97	△21
親会社株主に帰属する四半期純利益	326	974

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	229	952
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,016	329
為替換算調整勘定	1,594	4,026
退職給付に係る調整額	△24	△33
持分法適用会社に対する持分相当額	61	187
その他の包括利益合計	614	4,510
四半期包括利益	844	5,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	505	4,661
非支配株主に係る四半期包括利益	338	801

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	546	1,324
減価償却費	2,642	2,466
のれん償却額	112	122
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△18
賞与引当金の増減額 (△は減少)	236	412
受取利息及び受取配当金	△149	△151
為替差損益 (△は益)	46	△203
持分法による投資損益 (△は益)	△89	△113
投資有価証券売却損益 (△は益)	△966	△24
売上債権の増減額 (△は増加)	1,572	437
棚卸資産の増減額 (△は増加)	347	△469
仕入債務の増減額 (△は減少)	859	274
未払金の増減額 (△は減少)	△858	△556
その他	1,065	19
小計	5,366	3,518
利息及び配当金の受取額	140	138
利息の支払額	△12	△10
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△260	147
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,233	3,794
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,197	△1,307
定期預金の払戻による収入	635	1,618
有形固定資産の取得による支出	△1,071	△706
無形固定資産の取得による支出	△160	△188
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,151	70
その他	24	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	376	△516
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,500	△21
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△82	△125
配当金の支払額	△719	△813
連結の範囲の変更を伴わない 子会社株式の取得による支出	△173	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,475	△1,018
現金及び現金同等物に係る換算差額	378	1,268
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,513	3,527
現金及び現金同等物の期首残高	13,040	16,015
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,554	19,542

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当社は当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	インドネシア	海外その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,722	5,186	6,403	29,311	—	29,311
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,162	1,201	69	3,434	△3,434	—
計	19,884	6,387	6,473	32,745	△3,434	29,311
セグメント利益 又は損失(△)	△178	△593	125	△646	—	△646

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	インドネシア	海外その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,790	6,089	7,773	32,652	—	32,652
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,583	1,774	167	4,525	△4,525	—
計	21,373	7,863	7,941	37,178	△4,525	32,652
セグメント利益 又は損失(△)	681	△370	728	1,038	—	1,038

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。